

## 編集後記

教養紀要 Contexture の第36号をお届けします。今号も人文社会科学に関わる研究論文に加え、研究生活の中での思索や教育・指導場面における試み、海外の法制度改革の紹介と問題提起など、教養紀要らしい多様な6篇が集まりました。

今号では今年度末に退職を迎える斎藤昭二先生、田中正一先生のご略歴と研究・教育活動をご紹介します。かつての教養課程・人間科学課程を経て基礎教育センター立ち上げに携わった斎藤先生、長年の教育現場でのご経験をもとに教職センターの初代センター長として教職課程を牽引した田中先生、お二人によって基礎教育センターが支えられていたと言っても過言ではありません。あらためて、心からの感謝を申し上げます。

高等教育機関における教養教育の「改革」が進む中、その教育に携わる者は自身の研究を究めるだけでなく、知見を社会と共有すべく働きかけることが求められています。オンラインでの公刊による紀要の入手性向上は、社会と教養教育とをいっそう深く結びつけることに役立つものと思います。論考をお寄せいただいた執筆者の皆さまにお礼を申し上げますとともに、教養紀要の多様な論考が、柔韌で寛容な社会を織り上げていく一助となることを祈念します。(高橋ま)